

スーパー耐久シリーズ 2017 第 1 戦
200x200Races MOTEGI Opening Stage
RACE REPORT

【SKT Team Motoyama】として今シーズンフル参戦を果たしたスーパー耐久シリーズの初戦が、4月1日(土)、2日(日)ツインリンクもてぎで開催された。

今期のドライバーラインナップは、本山哲を A ドライバーに、B ドライバーには内外のレースで経験豊富な加納政樹。クラブマンレースでタイトルを獲得するなど実績には定評のある松原怜史、そして GT500 で活躍する安田裕信を C・D ドライバーに迎えた。



レースの運営はスーパー耐久レースで数々の輝かしい戦績を残してきたテクノファーストが担当。今期はゼッケン 34 でエントリー。

この開幕戦では、加納政樹に代わって松原怜史が B ドライバー、安田裕信が C ドライバーを務めた。

34 SKT Team motoyama Z34

ドライバー：A/本山哲、B/松原怜史、C/安田裕信

予選 ■ 4月1日(土) 本山/松原 クラス 6 位：4'21.865

決勝 ■ 4月2日(日) 本山(22)→松原(36)→安田(35) 93 周 クラス 6 位

参戦するクラスは ST3。このクラスには 9 台のエントリーがあり、4 台の Z34 で参戦する日産勢と 4 台のトヨタ・レクサス勢との実質 2 強対決。予選は、各チームの A/B 両ドライバーによる合計タイムで競われる。

A ドライバー予選が始まる時刻は 8 時 20 分。コース上は若干ウエットであったが、B ドライバー予選が始まる頃には路面は回復し各チーム大きくタイムを伸ばす事になった。

トヨタ・レクサス勢が優勢と思われた予選では、A ドライバーの本山が 2'15.656 の好タイムでトヨタ陣営に食い込む 3 位。そして 2 シーズンぶりに S 耐のステアリング握った松原は 2'06.209 の 6 番手のタイム。合計予選タイムは 4'21.865 となり残念ながら上位進出はならず、6 位で予選を終えた。

明けて翌日の決勝レースは、朝から好天に恵まれレース前は春らしい陽気になった。その後少し汗ばむくらいまで気温は上がり、スタート時刻の 13 時 15 分を迎えた。

そしていよいよ 13 時 19 分過ぎに 200KM のレースがスタート。



スタートドライバーは本山。オープニングラップからトラブルもなく順調に周回を重ねるものの、数周を走ったあたりからラップタイムが落ちていく。

モニターに表示される最高速はトップのマシンより 10 km 以上も遅く、トラブルチェックをするもドライバーからはマシンには特に問題となる兆候はないと報告が入る。

そして暫く我慢の周回を重ねることになったが、しかしこれ以上の遅れを受け入れるわけにもいかず、チームは急遽作戦を変更しピットインを早めポジションの回復を図ることに、22 周目に B ドライバー松原に第 2 スティントをゆだねた。

しかしアウトラップ以降、松原は 34 号車のベストラップを更新しながら順調にラップタイムを上げていく。ピットインが奏功したのかマシンの状態がリセットされ本来の速さを取り戻した 34 号車は、松原が 36 週のロングランをこなしよいよ安田裕信へ最終スティント託すことになった。

6 位でスタートした順位は、1st スティントこそ 8 位まで順位を下げたが、早めのピットインを行ってからは順位を戻し、一時は 4 位まで浮上するも第 2 スティント終了時点で 7 位。

そして 58 周目に最後のピットイン。安田は長めの給油をこなしコースに復帰した。ここから安田の猛追が始まる。A/B 両ドライバーのベストを 1 秒近く上回るタイムで残りの周回を重ねてポジションを 6 位まで戻す。

そして周回数 35 を数えて 200KM レースのチェッカーが降られた。

SKT Team Motoyama の開幕戦は、93 周を走り切り 6 位で終えた。

■ 本山哲のコメント

「まず初めに、今期シリーズ参戦を実現するために多大なるご支援、ご協力を賜りました企業、関係者の皆様に深く御礼を申し上げます。

去年はスポットで参戦しましたが、今年も昨年と同じ体制でフル参戦が実現できたので、順調に開幕戦を迎える事が出来ました。

この開幕戦、新しく加わった松原君は久しぶりの S 耐という事で予選ではすこし緊張してるかなと思いましたが、決勝レースではマシンの不調が解消されてから期待しているペースで走ってくれました。

安田はさすがに面目躍如といった感じで、劣勢なレース展開を上手く立て直してヨタ勢とのハンディを感じさせない走りでもって最後まで頑張ってくれました。

6 位という結果には満足していませんが、まずは表彰台を目標に RD2 以降チーム一丸となって戦っていきますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。」

■ レースの公式結果はこちらよりご覧ください。→ http://supertaiky.com/race_result/

■ 次戦は、4/29-30 にスポーツランド SUGO(宮城県)にて開催されます。



2017 SPECIAL THANKS TO

asset



TA
Team MOTOYAMA

TECHNO FIRST

GS CRAFT
Sports

LOGI

* 本件お問い合わせはエムズクラブまで、info@motoyama.net



HIROTEX
Racing

25th Anniversary
Super Taiky
www.super-taiky.com